

理研シンポジウム  
エンジニアリングネットワーク・ワークショップ  
第2回精密武装抗体の合成と機能評価

協賛：日本薬学会 後援：日本化学会

抗体-薬物複合体や radioimmunotherapy 製剤は次世代抗体医薬として期待されていますが、様々な分野間の連携が必要です。今回の講演会では、構造均一ADC作製・医療応用などの分野からの最先端研究を展開されている先生方にご講演を頂きます。

参加ご希望の方は、お名前、ご所属、メールアドレス、懇親会参加の有無を明記の上、1月15日（水）までにarmed-antibody\_sympo\_2020@ml.riken.jpまでご連絡ください。（当日受付可）

日時：2020年1月21日 受付13:00開始 講演13:30開始

場所：(株)島津製作所 東京支社：  
東京都千代田区神田錦町1丁目3

都営新宿線 小川町駅、東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅、  
東京メトロ丸の内線 淡路町駅の B7出口より 徒歩6分  
東京メトロ銀座線 神田駅より 徒歩10分  
JR神田駅西口より 徒歩10分



参加費：無料

講演者：

津村 遼（国立がん研究センター）

抗組織因子（Tissue factor）抗体を用いたADCの研究開発

土釜 恭直（The University of Texas）

分岐型リンカーを活用した次世代 ADCの創製

辻 厚至（放射線医学総合研究所）

放射性標識抗体による腫瘍イメージングおよび治療

伊東 祐二（鹿児島大学理学系研究科）

親和性ペプチドを用いた抗体標識による高機能性抗体医薬品の  
開発～ADC、PETプローブを中心に

横山 茂之（理化学研究所）

非天然型アミノ酸導入技術によるADCの開発

懇親会：幻のイタリアン カンティーニ 18:00より

懇親会費：一般5,000円 学生2,000円（当日受付）

お問い合わせ先：armed-antibody\_sympo\_2020@ml.riken.jp; smanabe@riken.jp

国立研究開発法人理化学研究所/東北大学薬学研究科医薬品開発研究センター 眞鍋史乃